



進路便りの表題である「羅針盤」
発明したのはヨーロッパ人ですが、
その磁石が南北を指すことを発見
したのは中国人が最初で、「火薬」
「製紙法」「磁石」の使用を中国人
の三大発明と呼んでいます。私たち
は、この長い歴史を持つ中国から
多くの文化を取り入れ、取捨選択し
現在の日本の文化を形作ってきました。
その中でも、古代中国において花
開いた哲学・思想は、今日でも
私たち日本人の考え方や生き方に
影響を与えています。まずは、軽く
つまんでみませんか？



★江戸幕府を開いた徳川家康の言葉
「人の一生は重荷を負って遠き道を行くが如し」
これは、『論語』の「任重くして道遠し」という言葉が原点。
★江戸時代の儒学者、佐藤一斎は、
「孔子を学ぶものは孔子の志をもって、自分の志にせよ」と
常に言っていた。
★幕末の志士、吉田松陰も深く『論語』を学んだ。
「經書を読むの第一義は、聖賢に阿おもねらぬこと要なり」とあり、
「經書」とは『論語』や『孟子』などの經典のこと、「聖賢」とは
主に孔子、孟子のこと、「阿ねる」とは、盲従することなので、
「自分の生き方や国のあり方に照らし、生かすことが大事」
だという意味です。
★西郷隆盛も島流しで沖永良部にいたとき、村の子供たちに
『論語』を教えていたそうです。

高校生から質問！ ～大学教員編

Q. 高校生の時しかできないことは？

A. 大学に入ると誰かに「これをやりなさい」といわれることは
ありません。自ら動かなければならないのです。だからこ
そ、高校時代に物事をやり遂げる方法や力を身につけてく
ださい。勉強や部活などやるべきこと、与えられたことを「全
力」で行ってください。

Q. 大学の先生が求める理想の高校生は？

A. 大学では、何のために何をやり遂げたいのか意志を持
って学ぶことが大切です。ですから、「考える人」「創造でき
る人」「根性がある人」「生きることを大切にでき楽しむこと
ができる人」が理想です。大学生活で目標設定力・課題発
見力・課題解決力を育ててほしいです。

Q. 大学のオープンキャンパスで見ると
ポイントは何？

A. ポイントは、現役の大学生と仲良くなること。オープンキ
ャンパスを手伝ってくれる大学生に積極的に話しかけ、何
でも質問してみてください。また、大学生になった自分自身
をイメージしてみるとよいと思います。

高校生から質問！ ～社会人編

Q. 高校生の時に頑張ったことは？

A. ボランティア活動や異業種交流会などを通じて、たくさ
んの人と出会いました。就職活動中の大学生からも「コミュニ
ケーションの取り方がわからない」という不安を聞くこともあ
ります。ぜひ、高校生のうちから多くの人、いろんな世代の人と
話をしてください。きっと、将来役に立ちます。

Q. 大学で学んだことはどのように仕事に
役立っていますか？

A. 学んだことが直接的に結びつくことは少ないです。しか
し、応用方法は多様です。プレゼンや企画の際に、学んだ
知識を自分の意見に織り交ぜると、説得力も倍増するはず
です。

Q. 仕事をやめたくなくなることはないで
すか？

A. 入社時には不安もありましたが、責任感が強くなるととも
に、チーム意識が生まれ、逆に楽しくなりました。高校生の
みなさんにとっての仕事「勉強」もコツを掴むと意外と楽しく
なると思いますよ。

9月宅習調査の結果から

普通科を対象に、9月15～21日の7日間、宅習時間調査が実施されました。その集計結果は下の表の通りです。

【曜日別】

学年	平日計	土・日	週合計	携帯電話
1	6.3	2.7	9.0	9.5
2	7.8	3.4	11.2	9.3
3	12.7	4.9	17.6	4.7

【科目別】

学年	国語	数学	英語	地公	理科	家芸保
1	2.2	3.5	3.0	0.3	0.3	0.0
2	2.7	3.0	4.3	0.4	0.6	0.0
3	4.1	4.8	5.7	1.9	1.1	0.1

(単位は時間)

以上の結果をふまえ、皆さんの現状を分析すると、

1年

- 過年度比較で、学習時間が最も少ない。
- 前回(6月)と比較すると、数学以外の全教科で学習時間が減少している。
- 金曜日の学習時間が、1時間を下回っている。
- 携帯電話の使用時間が、学年でも、また過年度より多い。

2年

- 平日計は昨年度(現3年生)並みであるが、土日の学習時間が少ないため、週合計が過去5年で最も少ない。
- 1学年同様、平日平均が2時間を大きく下回っている。
- 携帯電話の使用時間も、過年度より多い。

3年

- 学習時間は、前々回・前回より増えてきているが、過年度と比較するとまだまだ少ない。
- 土日の学習時間が伸びていない。
- 教科別では、時期的に地歴公民及び理科にもっと時間をかける必要がある。

今回は、期間の中に3連休を含んでいたにも関わらず、

このような結果となってしまいました。また、運動部の生徒は地区大会を目前に控え、練習もハードだったと思います。体をゆっくり休めたい、テレビが観たい、携帯を触りたい、いろいろやりたいことがあるでしょうが、**自分を律する**ことが大切です。優先順位をしっかりとつけ、今、自分に何が必要なのか、しっかりと見極めましょう。

とは言っても、受験が目の前に迫っている3年生ならともかく、先が長い(と思っている?)1・2年生はなかなか「受験モード」にはなれませんよね。しかし、必ずその時はやって来ます。「競争相手は全国だよ」「将来の目標を見つけよう」とこれまで何度言われてきたことか。付け焼き刃的な知識は受験では役に立ちません。**今この時からの**日々の積み重ねがとても大切です。

宅習時間を増やすには?

○携帯・スマホを手放しましょう!!



「午後9時には電源OFF」～これをどれだけの方が実践していますか?大人でもゲームに興じたり、メールをやりとりしたり、長時間スマホを覗いている人もいます。「況んや高校生をや」ですが、多くのことを吸収してこれから社会に出て行くはずの高校生にはスマホ時間ももたない!今年の卒業生が、在校生に向けての「受験体験発表会」の中で次のようなことを言っていました。「9時になったら、スマホの電源を切って、ベッドに投げていた」と。スマホを視界に入れない工夫ですが、部屋にあるとつい、という人は保護者に預けるのもいいですね。

○進捗状況を記録しましょう!



「レコーディングダイエット」って知っていますか?食べたものをただ書くだけの簡単ダイエット法です。文字にすることで、客観的に状況を確認することができます。「ああ、今日は食べすぎたな」と思えば、翌日はその分を減らす努力をする。書き続けていくうちに、自然とその食事のカロリーが分かるようになり、いつの間にか健康的な食生活になるそうです。勉強も同じで、文字化することで、「この部分が弱い。補強しなきゃ」と自分の学力の現状を客観的に捉えることができます。ノートがどんどん埋まっていけば、「やった感」を感じて、更に更にと欲が出てくるはず。Let's try ♪